

認定に もにす 出雲・壽光会

中国地方初

高い障害者雇用率評価



認定書を受け取る壽光会の馬庭稔理事長（右）＝松江市向島町、島根労働局

障害者雇用で優れた取り組みを認定する厚生労働省の「もにす認定制度」で、社会福祉法人壽光会（出雲市湖陵町）が中国地方5県で初めて選ばれた。障害者雇用率が高水準で、出雲養護学校との連携やキャリアアップ支援などが評価された。

同法人は8人の障害者が就労し、介護補助、調理補助、環境整備などの業務に従事している。障害者雇用

率は法定の2・2%を大きく上回る5・69%で、2012年以降、出雲養護学校から4人を採用しているほか、年1〜3人の現場実習生を受け入れている。

キャリアアップは働きぶりや適性を見極めて積極的に仕事の裁量を広げ、より高い能力が求められる介護補助などへの転換を実施。新入職員の定着のため、先輩が後輩の指導役となる「エルダー制度」も導入し

令和2年12月18日

山陰中央新報

(掲載許可済み)

ている。

松江市向島町の島根労働局でこのほど認定式があり、馬庭稔理事長(77)は「障害者雇用に取り組んでいるという特別な意識はない。一人でも成長してくれば

うれしい」と話した。

同制度は4月に創設され、中小事業者が対象。認定マークを使用できるほか、日本政策金融金庫の低利融資が受けられるメリットがある。(藤本ちあき)